

アフタヌーンセミナー 3 [AS3]

日時：2026年4月10日(金) 14:30~15:30

会場：Room 6 501 (福岡国際会議場)

わたしのノウハウ伝授します!

エキスパート流ステロイドの使い方、
効果と副作用のバランスを見極める

座長

中尾 新太郎 先生

順天堂大学大学院医学研究科 眼科学 主任教授

糖尿病黄斑浮腫 (DME) とぶどう膜炎の治療は近年急速に進歩し、新たな治療法が開発されていますが、ステロイドは今なお重要な治療薬として使われています。

DMEの治療では、主に抗VEGF薬による治療抵抗例や脳心血管系疾患のリスクがある症例などにステロイドを眼局所注射で、非感染性ぶどう膜炎の治療では、発症初期や炎症の急性期にステロイドの点眼、眼局所注射、全身投与など様々な投与方法で用いられています。

一方、ステロイドには眼圧上昇、白内障、感染症、血糖値上昇、骨粗鬆症など種々の副作用があり、治療の障害となることも少なくありません。

そこで本セミナーでは、DMEとぶどう膜炎治療のそれぞれのエキスパートから、ステロイドの効果と副作用のバランスを見極めた使い方のコツを解説していただきます。

お二人の先生から熟練の技を伝授していただきますので、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

講演
1ぶどう膜炎診療の悩みどころ：
病態理解×ステロイド治療×個別化戦略

演者

楠原 仙太郎 先生

神戸大学大学院医学研究科
外科系講座眼科学分野 講師講演
2糖尿病黄斑浮腫：
ステロイドの特性を生かした治療法を探る

演者

高村 佳弘 先生

福井大学 眼科学教室 准教授

